

きらめきプロジェクトからのお知らせ

医学研究院国際交流企画

対象：学内者

「医療における国際交流・貢献の現状と未来」

2022年

(WEB開催)

2月2日 水 17:00-18:30



お申込み 下記URL、もしくはQRコードより申し込み登録をしてください。
※申込者多数の場合は先着順となります。

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/join/register/UwqfuuhrzgrG9P_wQoUxXQ25pFxm4PEhkk



開会の辞 北園 孝成 (九州大学大学院 医学研究院長)



第1部 17:05~18:00 基調講演

「女性の健康のための国際協力：これまでとこれから
～開発途上国とグローバルレベル、そして日本～」

座長 加藤 聖子 (医学研究院生殖病態生理学 教授)

講演 藤田 則子 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
小原 ひろみ 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
春山 怜 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)

第2部 18:00~18:30 パネルディスカッション

座長 加藤 聖子 (医学研究院生殖病態生理学 教授)
パネリスト 藤田 則子 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
小原 ひろみ 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
春山 怜 先生 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
北園 孝成 (九州大学大学院 医学研究院長)
森山 大樹 (国際医療部海外交流センター長)
森山 智彦 (アジア遠隔医療開発センター長)
園田 康平 (副研究院長 眼科 診療科長)
磯部 紀子 (脳神経内科 診療科長)
吉丸 耕一郎 (小児外科 講師)



主催：九州大学大学院
医学研究院

後援：九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター
九州大学病院臨床研修センターきらめきプロジェクト
TEL/FAX：092-642-5203
MAIL：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

きらめき通信 vol.66

2022年1月(隔月発行)



新年あけましておめでとうございます。

きらめきプロジェクト副責任者の落合正行です。

現在は小児科に所属しておりますが、かつては総合周産期母子医療センターの新生児内科部門(小児科)医長を長く拝命しておりました。

かつて新生児集中治療室(NICU)は小児科医のなかでも過酷な分野とみなされてきました。NICU 医師は保育器の隣にパイプ椅子を並べて、懸命に何日間でも寄り添って赤ちゃんの命を救ってきました。その結果として我が国の新生児医療は世界随一の救命率を誇るようになりました。

しかしながら、自分の家庭を守る余裕がない医師に、患者とご家族の最善の利益に尽くすことができるのでしょうか? 母子の健康を守る周産期医療に携わる医師には、医療の質向上と同様にスタッフの家庭生活を守る責務があります。

その責務のためには、部門内の勤務体制の見直し、病院や医局への増員上申、地域医療の体制構築など、院内外に多くの改善すべき項目がありました。そのなかで最も重要なのは、最前線で勤務している医師の、こうすればもっと働ける、どうすればこの分野で働くことができる、というきめ細やかなご提案でした。皆様のご提案をフィードバックすることで、この分野で働きたい、もっと働きたいという医師が増えることができれば、結果として医療の質向上につながります。

きらめきプロジェクトとは単に病院が働く場所を提供する部門ではなく、各々の医師が主役となり、キャリア支援になにが必要かを求め、実現していく事業であるということがご理解いただけるでしょうか?

皆様の想いをかなえることができますよう応援してまいります。

よい年となりますように。

九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

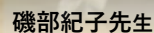
MAIL：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekijp.kyushu-u.ac.jp/



事務局としてプロジェクトを支えていただいていた清水さんが12月末で退職されました!
清水さん、5年間ありがとうございました。





九州大学大学院医学研究院神経内科学 教授
磯部 紀子

参加者の声

-

最後まで残っていただいた皆さんと！